

黄金町高架下新スタジオSite-D

小泉 雅生 / 小泉アトリエ



用途：集会場
構造・規模：S造、地上1階、延床面積145.66㎡

SITE-Dには、隣の階段広場と一体的に使用できる集会機能が求められ、できるだけ大きな空間が必要とされた。高架という強くて大きい土木構築物の足元に人々のより所となる空間をどのように作るか、高架下という暗く騒がしい場所でまちと人をどのように関係付けていくか、が課題だった。

まず林立する高架の柱を縫うように、コールテン鋼板を溶接した強く存在感のある屋根を架ける。その屋根をステージ部から集会スペースの中心に向かって高くし、階段広場の上部から高架のアーチと屋根の間を視線が抜けるなど、内部の機能・高架との取合い・周辺との関係に応じ折り曲げている。

まちと高架のスケールを調停し、起伏の中に領域性を生み出す屋根である。同時に異形の屋根が高架の下に浮き上がり、記憶に残る風景を生み出していく。かつてある種の人しか訪れなかったエリアを、まちの人々に開かれた領域に再生するための屋根の提案である。

黄金町地区とNPOの取組み



横浜市黄金町地区は、かつては売買取等の違法な小規模店舗が建ち並ぶ街であった。平成15年以降、地元や行政・警察・大学等と連携しながら「アートによる安全安心なまちづくり」を推進してきた。

NPO法人によるアートイベント「黄金町バザール」や、「黄金町芸術学校」の運営、国内外のアーティストや建築家のアトリエ誘致などが行われ、様々な角度からまちづくりに参加できる取組みが根付いている。

高架下の集会場 Site-D



黄金町高架下新スタジオは、2011年から2012年にかけて建築された4つの建物群とかいだん広場からなる文化芸術活動拠点である。

「Site-D」は、まちに関わるひとびとが集う集会場の他、レクチュア、マーケット、作品展示、地域の食堂として多目的に利用され、地域の新たなコミュニティ創出の場となっている。



Photo 1-5: Tomohiro Sakashita

